

ま ちの話題

柳迫孝男さんが 瑞宝単光章を受章

長年にわたって地方自治や社会福祉などで活躍して、その功績を認められた人に贈られる叙勲の瑞宝単光章を、柳迫孝男さん（城山区・78歳）が、受章されました。

柳迫さんは、昭和26年1月に警察官として奉職されました。それから36年間、主に交通関係の任務に就いて最前線で活躍され、昭和62年に退職されました。

また、現在は、須恵町老人クラブ連合会長と粕屋郡老人クラブ連合会長の職を務め活躍されています。



「光栄でありがたいです」と話される柳迫さん

絶好のつつじまつり 日和でした

商工つつじまつり IN SUE（須恵町商工会主催）が、4月29日（昭和の日）に皿山公園で開催されました。

まつりは、焼そばやかき氷などのバザーや、フリーマーケットなどたくさんの出店がありました。ステージ上では太鼓やダンス、仮装パフォーマンス大会など、盛りだくさんのイベントが行われました。また、つつじの苗とヒノキチップの無料配布や乗馬体験もありました。

当日は、絶好のつつじまつり日和となり、たくさんの人が訪れにぎわっていました。



今年も大勢の人でにぎわったつつじまつり

剣友会 ゴールデンウィーク中大活躍

須恵剣友会が、ゴールデンウィーク期間中4大会に出場して、団体戦で優勝3回などの好成績を収めました。

- 4月28日（土）宮本武蔵顕彰全国小中学校剣道大会（於：熊本市総合体育館）
中学生女子団体 優秀賞
- 4月29日（日）ライオンズ旗争奪少年剣道大会（於：宗像ユリックス）
小学生団体 優勝（Aチーム）・同3位（Bチーム）
中学生団体 優勝
- 4月30日（月）若鮎旗争奪少年剣道大会（於：延岡市民体育館）
小学生低学年団体 優勝



ゴールデンウィークを返上しての活躍

- 5月6日（日）筑前旗争奪少年少女剣道大会（於：北九州市立総合体育館）
小学生低学年団体 3位・中学生団体 3位

緑を守り育てる

…須恵宝満宮の殿様マキ…



須恵宝満宮の殿様マキ

小学生のころ、学校帰りに度々寄り道をした記憶があります。宝満宮の前には、集落の間を通り抜ける小さな小川が流れていて、ハヤやドンコをすくったり、石をめぐって沢ガニを捕まえたりしていました。

また、境内に入ってマキの木に登り、赤紫の実をちぎっては欠

のマキの木を植えたと伝えられているところから、地元では、殿様マキの名で親しまれています。

須恵区では、保存樹指定を機に殿様マキを末永く保存していくと、周囲に柵を設けています。

一方、拝殿に向かって右側の奥には、一本のタブの木があります。こちらは保存樹には指定されていませんが、「お守り虫」の話が伝わっています。

この木には、その昔、川二ナの形をした細長いカイガラムシが数多く寄生していて、それが「お守り」として重宝されたといわれています。特に出征する兵隊さんたちは、これを命を守る「お守り」として肌身につけて、郷里をあとにして行ったということです。

（須恵町自然教育林推進協議会）

みなみの森に案内板を設置

須恵町自然教育林推進協議会では、平成7年から、学校や幼稚園、保育園に緑を育てる「学園の森づくり」を進めています。

南幼稚園の「みなみの森」もその一つで、現在、ホルトやザクロ、モチ、シイ、カシ、カイズカ、ヤマボウシ、ヤマモモ、コナラ、モミジなどが植えられています。子どもたちは木に登ったり、木の実を拾ったりして自然に親しんでいます。

この「みなみの森」に、このほど、かすや南ライオンズクラブの寄付を得て、ステンレス製の案内板が設置されました。

案内板には、「みなみの森」が出来るまでのいきさつに加えて、「環境が人をつくり、人が環境をつくる」の文字も記されています。



園児とともに成長する「みなみの森」